

電話帳を調べる

出典：『電話番号表<名古屋> 明治四十二年五月三十一日改』

電話帳は、電話番号だけでなく会社名や氏名から収録当時の住所や職種について調べることができる貴重な資料です。ここでは、鶴舞中央図書館で閲覧できる電話帳や電話帳に関する資料について紹介します。

1. 最新版の所蔵範囲 2. 古い電話帳の所蔵範囲 3. 電話帳に関する資料

 : 図書  : インターネット  : 類縁機関

1. 最新版の所蔵範囲

鶴舞中央図書館では日本全国の電話帳が閲覧できます。

※50音別電話帳（ハローページ）の発行は2021年10月～2023年2月に発行する最終版をもって発行終了しました。

? お探しの地域がどの電話帳に収録されているかわからないとき

 「タウンページライブラリー」 東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社

(<http://www.denwacho.ne.jp/>)

お探しの地域がどの電話帳に収録されているかを調べるができるほか、タウンページ・ハローページ企業名編の最新版を Web 上で閲覧することができます。

! 日本全国の電話帳（最新版）が閲覧できる近隣の施設

 愛知県図書館 (<http://www.aichi-pref-library.jp/>) 名古屋市中区三の丸 1-9-3

2. 古い電話帳の所蔵範囲

鶴舞中央図書館では**愛知県内の電話帳**のみ、その一部を保存しています。

⇒ 鶴舞中央図書館所蔵の名古屋の電話帳一覧 (http://library.city.nagoya/img/reference/0201_2.pdf)

! 古い電話帳の検索方法

鶴舞中央図書館が所蔵している古い電話帳（バックナンバー）については、「資料検索」の「簡単検索」（「詳細検索」の画面では「全項目」）に“電話帳” “電話番号” “電話名簿”などの語を入力して検索してください。ただし、2005年以降の発行のものは現在検索できませんので、鶴舞中央図書館にお問い合わせください。

愛知県内の古い電話帳を所蔵している施設

愛知県図書館で愛知県内の古い電話帳を所蔵しています。所蔵状況については、愛知県図書館ホームページ (<http://www.aichi-pref-library.jp/>) の「本を探す」>「便利な所蔵一覧」>「電話帳（愛知県）」の電話帳の所蔵一覧リスト（名古屋市内、尾張・三河地区）で確認することができます。

3. 電話帳に関する資料

3-1. 電話帳・電話全般

 『電話帳の社会史』 田村紀雄／著 NTT 出版 2000年 [694]

1878年にアメリカで生まれた電話帳（1枚の加入者リスト）が、その後どのように発展したのか、電話帳ビジネスの歴史が分かります。

 『電話帳 家庭データベースの社会史』 田村紀雄／著 中央公論社 1987年 [N6946]

 『明治電信電話（テレコム）ものがたり』 松田裕之／著 日本経済評論社 2001年 [6942]

 『日本の電話』 朝日新聞社／編 朝日新聞社 1967年 [N694]

電話の応答として「もしもし」が大流行した話など、電話や電話帳にまつわる様々なエピソードが紹介されています。

3-2. 名古屋の電話帳・電話

 『名古屋の電話』 日本電信電話公社名古屋都市管理部／編 1968年 [NA69]

名古屋の電話開設までの経緯や名古屋の電話番号簿の変遷など、名古屋の電話の歴史について書かれています。付録として、「名古屋の電話加入数推移（明治31年～昭和42年）」などの資料があります。

 『東海の電信電話 1-3』 日本電信電話公社東海電気通信局／編 1962-1984年 [NA69]

 『東海電信電話工事業史』 東海電信電話工事業史編集委員会／編集 電信電話工事協会東海支部 1980年 [6942]

戦中・戦後の電話設備について、主に設備工事の面から書かれています。空襲による電信電話の被害状況や、関連企業の沿革についてもまとめられています。